

上宮寺通信

第五十号

好物

暑さもようやく落ち着いてきました。

読書の秋、スポーツの秋、味覚の秋と、人々が活動的になるのもこの「秋」の季節です。特にこの時期はおいしいものがたくさん出回りますので、体重とにらめっこしながら味覚の秋を満喫する人も多いのではないのでしょうか。

食べ物でいえば人それぞれに好物というのがあります。そして好物というのは、その人を強く印象付けます。「あの人はこれが好物だったなあ」と法事の席などでは故人を好物とともに思い出出すことも多いでしょう。

浄土真宗の開祖・親鸞聖人は大根と小豆が好物だったと伝えられています。

名古屋別院の報恩講ではお齋に甘辛く焚いた大根が出てきます。京都の鳴滝にある了徳寺は「大根焚の寺」として有名で、その由緒には「了徳寺を訪れた親鸞聖人が村人たちに教えを説かれ、その教えに感銘を受けた人たちが御礼に大根をごちそうした」と書かれています。

京都には他宗の寺にも大根焼きで有名なところが多数あるので、親鸞聖人の好物が大根だったから特別にふるまったというわけではないかもしれません。しかし、全国各地の真宗寺院でも報恩講で大根がふるまわれることから、親鸞聖人は大根が好

物であったという言い伝えはあながち嘘ではないのでしょうか。

他にも親鸞聖人は小豆が好物であったと言われています。それをあらわす言い伝えの一つとして越後流罪で越後に向かう途中での出来事があります。

琵琶湖の北を越前へと歩いているとたいへんな難所があり、親鸞聖人はそこで足を痛められたそうです。そして、ある炭焼き小屋で休まれることになりました。しばらく滞在することとなり近くの人たちに念仏の教えを説かれた。その小屋の主人が御礼に親鸞聖人の好物であった小豆を煮てもてなしたところ、たいそうお喜びになったという話が残されています。

このような話は各地に伝わっ

ています。地域によっては報恩講のときに小豆粥や小豆ごはんをふるまうというところもあるそうです。

人間はおいしいものを食べている時が一番幸せを感じるものです。でも、食べすぎにはくれぐれもご注意を。



◆行事案内

上宮寺の行事

報恩講

11月8日(火) 午前10時

法要 引き続き 法話

法話 伊奈祐諦師

(西尾市安楽寺前住職)

※正午頃終了予定です。

※お齋(食事)、呈茶はございませんのでご了承ください。

本山報恩講団体参拝(日帰り)

11月24日(木)

東本願寺報恩講(速夜)参拝、

妙心寺・退蔵院見学 他

参加費 一四、〇〇〇円

定員 30名(定員になり次第締切)

※これらの行事は今後の新型コロナウイルスの感染状況によっては変更する場合があります。

◆話題あれこれ

○9月10日の秋季彼岸会・永代経法要にはたくさんの方にお参りをいただきありがとうございます。ごさいました。遺言相続落語はいかがでしたでしょうか。石亭いんこさんも「しつかりと聞いてくださってありがとうございました」と喜んでおられました。

○11月8日の報恩講も午前のみとなります。感染防止に努めて皆様と一緒に勤めたいと思います。ぜひご参詣ください。また、ご参詣の折にはマスクの着用、手指の消毒にご協力いただきますようお願いいたします。

○季節の変わりめです。体調にはくれぐれも気をつけてください。

○先月号で、開催のお知らせをいたしました第70回「舞楽と管絃の会」は今年も中止となりました。練習がままならず準備不足もありこのような判断となりました。楽しみにされていた方には申し訳ございません。

○11月16日(水)に東別院で住職が法話をさせていただきました。午前11時10分からと午後1時から二座で各30分となります。場所は本堂横の建物で「対面所」というところです。



【雑感】

先月末からパソコンの調子が非常に悪くなってきました。途中で動かなくなる、起動しないなどの現象が起き、サーバーセンターに電話をかけ何とか危機を脱出。でも、いつまた同じことが起きるかわかりません。寺の事務関係全般やこの通信もそのパソコンで作業しているの、壊れたら何もできなくなり一巻の終わり。保険の意味も込めて新しいパソコンを購入しました。ウィンドウズ11になり、使い勝手も違っていて、慣れるまで少し時間がかかりそうです。(住職記)

【発行】

真宗大谷派

上宮寺

昭和区白金二丁目十九番十五号

☎052-871-0547